

平成28年度 東京工業大学 2次試験前期日程(数学問題)180分  
理・工・生命理工 数I・II・III・A・B 平成28年2月25日

問題 ① ② ③ ④ ⑤

①  $a$  を正の定数とし, 放物線  $y = \frac{x^2}{4}$  を  $C_1$  とする.

(1) 点  $P$  が  $C_1$  上を動くとき,  $P$  と点  $Q\left(2a, \frac{a^2}{4} - 2\right)$  の距離の最小値を求めよ.

(2)  $Q$  を中心とする円  $(x - 2a)^2 + \left(y - \frac{a^2}{4} + 2\right)^2 = 2a^2$  を  $C_2$  とする.  $P$  が  $C_1$  上を動き, 点  $R$  が  $C_2$  上を動くとき,  $P$  と  $R$  の距離の最小値を求めよ.

②  $\triangle ABC$  を一辺の長さ  $6$  の正三角形とする. サイコロを  $3$  回振り, 出た目を順に  $X, Y, Z$  とする. 出た目に応じて, 点  $P, Q, R$  をそれぞれ線分  $BC, CA, AB$  上に

$$\overrightarrow{BP} = \frac{X}{6}\overrightarrow{BC}, \quad \overrightarrow{CQ} = \frac{Y}{6}\overrightarrow{CA}, \quad \overrightarrow{AR} = \frac{Z}{6}\overrightarrow{AB}$$

をみたすように取る.

(1)  $\triangle PQR$  が正三角形になる確率を求めよ.

(2) 点  $B, P, R$  を互いに線分で結んでできる図形を  $T_1$ , 点  $C, Q, P$  を互いに線分で結んでできる図形を  $T_2$ , 点  $A, R, Q$  を互いに線分で結んでできる図形を  $T_3$  とする.  $T_1, T_2, T_3$  のうち, ちょうど  $2$  つが正三角形になる確率を求めよ.

(3)  $\triangle PQR$  の面積を  $S$  とし,  $S$  のとりうる値の最小値を  $m$  とする.  $m$  の値および  $S = m$  となる確率を求めよ.

③ 水平な平面  $\alpha$  の上に半径  $r_1$  の球  $S_1$  と半径  $r_2$  の球  $S_2$  が乗っており,  $S_1$  と  $S_2$  は外接している.

(1)  $S_1, S_2$  が  $\alpha$  と接する点をそれぞれ  $P_1, P_2$  とする. 線分  $P_1P_2$  の長さを求めよ.

(2)  $\alpha$  の上に乗っており,  $S_1$  と  $S_2$  の両方に外接している球すべてを考える. それらの球と  $\alpha$  の接点は,  $1$  つの円の上または  $1$  つの直線の上にあることを示せ.

4  $n$  を 2 以上の自然数とする.

(1)  $n$  が素数または 4 のとき,  $(n-1)!$  は  $n$  で割り切れないことを示せ.

(2)  $n$  が素数でなくかつ 4 でもないとき,  $(n-1)!$  は  $n$  で割り切れることを示せ.

5 次のように媒介変数表示された  $xy$  平面上の曲線を  $C$  とする:

$$\begin{cases} x = 3 \cos t - \cos 3t \\ y = 3 \sin t - \sin 3t \end{cases}$$

ただし  $0 \leq t \leq \frac{\pi}{2}$  である.

(1)  $\frac{dx}{dt}$  および  $\frac{dy}{dt}$  を計算し,  $C$  の概形を図示せよ.

(2)  $C$  と  $x$  軸と  $y$  軸で囲まれた部分の面積を求めよ.

## 解答例

- 1 (1)  $C_1$  上の点  $P$  を  $\left(t, \frac{t^2}{4}\right)$ ,  $f(t) = PQ^2$  とする.  $a > 0$  より,  $Q\left(2a, \frac{a^2}{4} - 2\right)$  の  $x$  座標は正であり,  $C_1$  は  $y$  軸に関して対称であるから,  $PQ$  の距離が最小となるのは,  $t \geq 0$  のときについて調べればよい.

$$\begin{aligned} f(t) &= (t - 2a)^2 + \left(\frac{t^2}{4} - \frac{a^2}{4} + 2\right)^2 \\ f'(t) &= 2(t - 2a) + 2\left(\frac{t^2}{4} - \frac{a^2}{4} + 2\right) \cdot \frac{t}{2} \\ &= \frac{t^3}{4} - \frac{a^2}{4}t + 4t - 4a \\ &= \frac{1}{4}(t - a)(t^2 + at + 16) \end{aligned}$$

このとき,  $t^2 + at + 16 > 0$  であることを注意して

$t$	(0)	...	$a$	...
$f'(t)$		-	0	+
$f(t)$		↘	極小 $a^2 + 4$	↗

よって, 求める最小値は  $\sqrt{f(a)} = \sqrt{a^2 + 4}$

- (2)  $C_2: (x - 2a)^2 + \left(y - \frac{a^2}{4} + 2\right)^2 = 2a^2$  の半径が  $\sqrt{2}a$  であるから (1) の結果に注意して

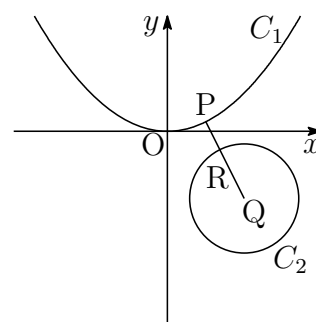
$$\sqrt{2}a \geq \sqrt{a^2 + 4}, \text{ すなわち, } a \geq 2 \text{ のとき}$$

PR の最小値 0

$$\sqrt{2}a < \sqrt{a^2 + 4}, \text{ すなわち, } 0 < a < 2 \text{ のとき}$$

PR の最小値  $\sqrt{a^2 + 4} - \sqrt{2}a$

よって, PR の最小値は  $\begin{cases} a \geq 2 & \text{のとき } 0 \\ 0 < a < 2 & \text{のとき } \sqrt{a^2 + 4} - \sqrt{2}a \end{cases}$



■

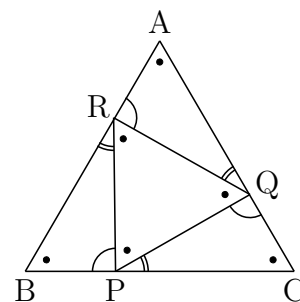
- 2 (1)  $\triangle PQR$  が正三角形のとき

$$\triangle BPR \equiv \triangle CQP \equiv \triangle ARQ$$

であるから,  $BP = CQ = AR$

したがって  $X = Y = Z$

よって, 求める確率は  $\frac{6}{6^3} = \frac{1}{36}$



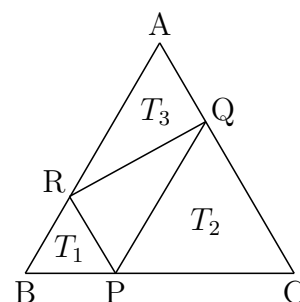
- (2)  $T_1$  と  $T_2$  だけが正三角形であるとき

$$RB = BP, PC = CQ, QA \neq AR$$

ゆえに  $6 - Z = X, 6 - X = Y, 6 - Y \neq Z$

すなわち  $Y = Z = 6 - X$  ( $X = 1, 2, 4, 5$ )

$T_1$  と  $T_2$  だけが正三角形となる確率は  $\frac{4}{6^3}$



$T_2$  と  $T_3$  だけ,  $T_3$  と  $T_1$  だけが正三角形となる確率もこれと等しい.

よって, 求める確率は  $\frac{4 \cdot 3}{6^3} = \frac{1}{18}$

- (3)  $\frac{\triangle BPR}{\triangle ABC} = \frac{(6-Z)X}{36}, \frac{\triangle CQP}{\triangle ABC} = \frac{(6-X)Y}{36}, \frac{\triangle ARQ}{\triangle ABC} = \frac{(6-Y)Z}{36}$  より

$$\begin{aligned} \frac{36S}{\triangle ABC} &= \frac{36}{\triangle ABC} (\triangle ABC - \triangle BPR - \triangle CQP - \triangle ARQ) \\ &= 36 - (6-Z)X - (6-X)Y - (6-Y)Z \\ &= 36 - 6(X+Y+Z) + XY + YZ + ZX \\ &= (6-X)(6-Y) + Z(X+Y-6) \end{aligned}$$

- (i)  $X+Y-6 < 0$  のとき,  $Z=6$  で  $S$  は最小となり

$$\frac{36S}{\triangle ABC} = XY \geq 1 \quad (\text{等号は } X=Y=1 \text{ のとき})$$

- (ii)  $X+Y-6 = 0$  のとき,  $X \neq 6$  に注意して

$$\frac{36S}{\triangle ABC} = (6-X)(6-Y) = (6-X)X = 9 - (X-3)^2 \geq 5$$

- (iii)  $X+Y-6 > 0$  のとき,  $Z=1$  で  $S$  は最小となり

$$\frac{36S}{\triangle ABC} = 5 + (5-X)(5-Y) \geq 1 \quad (\text{等号は } (X, Y) = (1, 6), (6, 1) \text{ のとき})$$

(i)~(iii) から  $\frac{36m}{\triangle ABC} = 1$  であるから

$$m = \frac{1}{36} \triangle ABC = \frac{1}{36} \cdot \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot 6 \sin 60^\circ = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

これを満たすのは,  $(X, Y, Z) = (1, 1, 6), (1, 6, 1), (6, 1, 1)$  の 3 組.

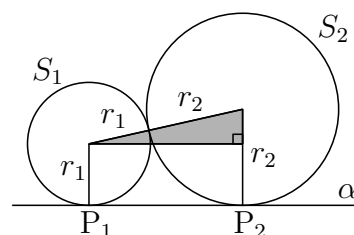
よって, 求める確率は  $\frac{3}{6^3} = \frac{1}{72}$  ■

**3** (1) 右の図の直角三角形について

$$P_1P_2^2 + (r_1 - r_2)^2 = (r_1 + r_2)^2$$

$$P_1P_2^2 = 4r_1r_2$$

よって  $P_1P_2 = 2\sqrt{r_1r_2}$



(2)  $\alpha$  上の半径  $r$  の球  $S$  が,  $S_1$  および  $S_2$  に外接するとき,  $S$  と  $\alpha$  の接点を  $P$  とすると

$$P_1P = 2\sqrt{r_1r}, \quad P_2P = 2\sqrt{r_2r}$$

(i)  $r_1 \neq r_2$  のとき  $P_1P : P_2P = \sqrt{r_1} : \sqrt{r_2}$

2点  $P_1, P_2$  を  $\sqrt{r_1} : \sqrt{r_2}$  に内分, 外分する点を  $A, B$  とすると,  $P$  は線分  $AB$  を直径とする円周上にある.

(ii)  $r_1 = r_2$  のとき  $P_1P = P_2P$

$P$  は線分  $P_1P_2$  の垂直二等分線上にある. ■

- 4 (1)  $n$  が素数のとき,  $n - 1$  以下の正の整数は  $n$  を因数に持たないので

$$(n - 1)! = (n - 1)(n - 2) \cdots 2 \cdot 1$$

は  $n$  で割り切れない.

また,  $n = 4$  のとき,  $(n - 1)! = 6$  は,  $n$  で割り切れない.

- (2)  $n$  が素数でなくかつ 4 でもないとき,  $n = pq$ ,  $2 \leq p \leq q$  とおくと

$$n - 1 - q = pq - 1 - q = (p - 1)(q - 1) + (p - 2) > 0$$

ゆえに  $2 \leq p \leq q < n - 1$

(i)  $p \neq q$  のとき  $(n - 1)! = (n - 1) \cdots q \cdots p \cdots 1$

したがって,  $(n - 1)!$  は  $n = pq$  で割り切れる.

(ii)  $p = q$  のとき,  $n \neq 4$  であるから,  $2 < p$ ,  $2p < p^2 = n$  より,  $2p \leq n - 1$

$(n - 1)!$  は  $p$  と  $2p$  を因数にもつので,  $(n - 1)!$  は  $n = p^2$  で割り切れる.

(i), (ii) より,  $n$  が素数でも 4 でもないとき,  $(n - 1)!$  は  $n$  で割り切れる. ■

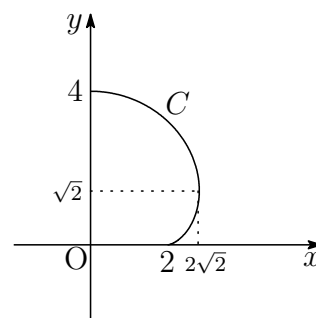
$$\boxed{5} \quad (1) \quad \begin{cases} x = 3 \cos t - \cos 3t \\ y = 3 \sin t - \sin 3t \end{cases} \quad (0 \leq t \leq \frac{\pi}{2})$$

上式を  $t$  について微分すると

$$\frac{dx}{dt} = -3 \sin t + 3 \sin 3t = 6 \cos 2t \sin t$$

$$\frac{dy}{dt} = 3 \cos t - 3 \cos 3t = 6 \sin 2t \sin t$$

$t$	0	...	$\frac{\pi}{4}$	...	$\frac{\pi}{2}$
$\frac{dx}{dt}$		+	0	-	
$\frac{dy}{dt}$		+	+	+	
$(\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt})$		↗	↑	↖	
$(x, y)$	(2, 0)	...	$(2\sqrt{2}, \sqrt{2})$	...	(0, 4)



$C$  の概形は右の図のようになる.

(2) 求める面積を  $S$  とすると

$$\begin{aligned} S &= \int_0^4 x dy = \int_0^{\frac{\pi}{2}} x \frac{dy}{dt} dt \\ &= \int_0^{\frac{\pi}{2}} (3 \cos t - \cos 3t)(3 \cos t - 3 \cos 3t) dt \\ &= 3 \int_0^{\frac{\pi}{2}} (3 \cos^2 t - 4 \cos 3t \cos t + \cos^2 3t) dt \\ &= 3 \int_0^{\frac{\pi}{2}} \left\{ \frac{3}{2}(1 + \cos 2t) - 2(\cos 4t + \cos 2t) + \frac{1}{2}(1 + \cos 6t) \right\} dt \\ &= 3 \int_0^{\frac{\pi}{2}} \left( 2 - \frac{1}{2} \cos 2t - 2 \cos 4t + \frac{1}{2} \cos 6t \right) dt \\ &= 3 \left[ 2t - \frac{1}{4} \sin 2t - \frac{1}{2} \sin 4t + \frac{1}{12} \sin 6t \right]_0^{\frac{\pi}{2}} \\ &= 3\pi \end{aligned}$$

別解 本題は、ガウス・グリーン定理を用いて求めることもできる。

$$f(t) = 3 \cos t - \cos 3t, \quad g(t) = 3 \sin t - \sin 3t \quad \left(0 \leq t \leq \frac{\pi}{2}\right)$$

とおくと

$$f'(t) = -3(\sin t - \sin 3t), \quad g'(t) = 3(\cos t - \cos 3t)$$

したがって

$$\begin{aligned} f(t)g'(t) - f'(t)g(t) &= (3 \cos t - \cos 3t) \cdot 3(\cos t - \cos 3t) \\ &\quad - (-3)(\sin t - \sin 3t)(3 \sin t - \sin 3t) \\ &= 12(1 - \cos 3t \cos t - \sin 3t \sin t) \\ &= 12(1 - \cos 2t) \end{aligned}$$

よって、求める面積  $S$  は

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} \int_0^{\frac{\pi}{2}} \{f(t)g'(t) - f'(t)g(t)\} dt \\ &= 6 \int_0^{\frac{\pi}{2}} (1 - \cos 2t) dt \\ &= 6 \left[ t - \frac{1}{2} \sin 2t \right]_0^{\frac{\pi}{2}} = 3\pi \end{aligned}$$

#### ガウス・グリーン定理

曲線  $C: x = f(t), y = g(t)$  ( $\alpha \leq t \leq \beta$ )  
 について、 $t = \alpha, \beta$  に対応する点をそれぞれ  $A, B$  とする。  $C$  と直線  $OA, OB$  で  
 囲まれた部分の面積を  $S$  とすると  
 ( $OB$  の偏角  $>$   $OA$  の偏角)

$$S = \frac{1}{2} \int_{\alpha}^{\beta} \{f(t)g'(t) - f'(t)g(t)\} dt$$

